

『C自常任委』諸君は、『C自是非問題に固執するな』

# 学情上け出し会とその由

12/17 C代大が開かれよう

無展望・クラスおいてさぼりの「カラスト」

「バリスト」許さぬクラ討踏まえたC代大を

12月一度の18日教授会の日にC代大? やる気のない「C自」、一民青諸君の  
「作戦3」科講師、教諭C代教授会決議、教授会、学生の自治権強化で、一方  
的な省令値にすを許さぬ大学へ変革しよう。

あれこれこゝに、教授会決議を一応追求している「C自」、一民青諸君は教授  
会の当日にC代大を開催する。これは、彼らに教授会決議、教授会、学生の自治権強化で、一方  
極めて意義を理解していよいよ詮説である。單に討論形がの一環としてしかこれら  
えられたらないのである。独立の道上での公敵は強く、かに世論形成がで  
きこない、75年一歩前進せざる道上では、延びがある以上、進むことは阻  
止できない。」のよう、文部省は大学を自らの意図で統制すべく、本来命令  
権のな「省令で大学を構りつけてはいる。よって、学生と教官が一体となって、  
学情上げなど政府文部省の「ゴリ押しを許さない」大学にしていかねばならない。  
教授会決議はそのための一歩であり、「学則再改訂」へのステップである。  
「C自」、民青諸君は省令値上げの戦いを「政府史業の戦いである」と決めつ  
けているが、彼らこそ、大学への政府統制を免離しており、政府への世論形成  
とともに、自治権強化で省令値上げを阻止せぬ限り値上げは阻止できない。  
12・12全国中行動で、北海道から九州まで全国大学の学友が、こうしたとり  
くみを文部省へ集中させる。

クラ討板の行動課題は、「カラスト」の二の聲だ!!

現在「C自」に対して学友が行動をとらうとする理由の一つは、クラス  
に現れた運動よりも成立させ、「C自」にぶつかる理念の統合である。「歴史  
的なC代大」と深層した「C自」の内面構成、に隠しC代大の背景が  
とれだけ集約されたのか? 「C自」は、委員会の割合を越すといふ事  
実は、従うか「C自」が「C代大」と思はせている表れである。だが  
ら「C代大」と決定するのに最高決議團である代  
議員大会を経て、「全学改憲(新規板のアーチー)

とお茶を濁したのだ。そしてその結果があのカラスト。  
である。「12・12全国中行動」と「C自」新規板のガラス  
トの「統括」と曰ふへども那度して「C自」  
に現れることは、たゞの空耳が過かだとしている。同  
じた口ひふがいはい。「C自」はガラストとい  
つが眞切ない現じと云ふて50名の教養生の意識とは余  
りにもかけ離れたものである。新規板の「全学改憲」  
「アーチー」とお茶を濁したから「ガラスト」になった  
のだ。しかし「C自」はからも解るよう、「C自」は諸君は  
はじめて大をはるのみによく行わんとしている。私  
果た「カラスト」の「C自」なることは明らかである。  
「C自」諸君は「C自」を正しいとして統一と認めた  
に及んでよ。全くこの間違つてはならない。

「C自」諸君は「C自」を正しく認めたが、C代大の統  
一に及んでよ。全くこの間違つてはならない。

# 学生大會